

「溶融亜鉛めっき技能検定試験」過去問題解説集の訂正について

令和6年8月

一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会

当協会の「溶融亜鉛めっき技能検定試験」過去問題解説集のうち、「平成27年度 1級B群 問題9及び平成31年度 1級B群問題13」の解説に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。訂正箇所は以下の下線部分です。

これらの問題はいずれの問題も令和5年度 1級B群問題12と同一問題であるので、下記の通り訂正のうえ、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

1. 平成27年度 1級B群 問題9

9. めっき素材に付着している塗料や油脂類をアルカリ脱脂しても、除去しにくいものはどれか。

- イ 水性アクリル樹脂系のペンキ
- ロ エポキシ樹脂系のさび止め塗料
- ハ アルキド（フタル酸）樹脂系のさび止め塗料
- ニ めっき素材製作時に付着した機械加工油

(解答) ロ

〔解説〕

一般にアルカリ脱脂ではペンキ及び塗料類は除去しにくい。特に、エポキシ樹脂系の塗料は耐薬品性があり、アルカリ脱脂で除去しにくい。(用語の解説「アルカリ脱脂」、亜鉛ハンドブック(改訂版) p308を参照。)

2. 平成31年度 1級B群問題13

13 次のうち、めっき素材に付着しているもので、アルカリ脱脂しても除去しにくいものはどれか。

- イ 水性アクリル樹脂系のペンキ
- ロ エポキシ樹脂系のさび止め塗料
- ハ アルキド（フタル酸）樹脂系のさび止め塗料
- ニ めっき素材製作時に付着した機械加工油

(解答) ロ

〔解説〕

一般にアルカリ脱脂ではペンキ及び塗料類は除去しにくい。特に、エポキシ樹脂系の塗料は耐薬品性があり、アルカリ脱脂で除去しにくい。(用語の解説「アルカリ脱脂」、亜鉛ハンドブック(改訂版) p308を参照。)